

やっふた

発行：令和5年11月22日
編集：姉体町振興会
住所：奥州市水沢姉体町字宿8番地3
TEL：0197(26)2524/FAX：0197(34)3410
MAIL：anetai-chikuceneter@catv-mic.ne.jp



～夜空に開いた大輪の花火～

大谷翔平選手ありがとうプロジェクト 2023

11月17日(金)、姉体町振興会は、大谷翔平選手の今年の活躍に感謝する花火を打ち上げました。今回で3年目となる「ありがとうプロジェクト」ですが、天候が危ぶまれた当日、私たちの思いが通じたかのように雨が上がった姉体小学校西側の夜空に、今年の成績、投手としての勝利数10勝を祝した10連発、打者としての44本塁打を祝した44連発、そしてリーグMVPにふさわしい大スターマインと10号玉での締めくくりと、(株)小松煙火工業(秋田県大仙市)による美しい花火で、約15分にわたり夜空が彩られました。

姉体小学校に観覧にきたくれたスポ少の子どもたちも、一発ごとに歓声をあげながら見ていました。

今年は昨年にも増して多くの方々から協賛金の協力をいただき、諸物価高騰の中でも昨年と同規模の内容を維持することができました。改めて御礼を申し上げます(協賛いただいた皆様のお名前は、来月お知らせいたします)。

また、安全の確保・交通誘導に従事していただいた、まちづくり部の幹事の皆さん、そして消防団第7分団の皆さん、たいへんありがとうございました。

気の早い話ですが、来年も大谷選手が大活躍して、より大きな感謝の花火が上げられるよう、引き続き姉体で応援していきましょう。

子ども達のカウントダウンで打上げ！

5・4・3・2・1 ファイヤー



「祝・大谷選手MLBアメリカンリーグMVP！」



【姉体町振興会子ども・女性部子ども委員会事業】

親子ボウリング交流会行いました！

10月27日(金)、ボウリングクオリアを会場に「親子ボウリング交流会」を行いました。

8組16名の親子や友達同士のペアが参加してくれました。

今回初めてボウリングを体験した子どもは、球の重さにびっくり！！何投か投げらううちに重さにも慣れ、投げ方やフォームを保護者の方に教えてもらいながら楽しんでいました。一方、何〇年ぶりに投げるお母さんたちは、思い出しながら投げるも、中々コントロールがうまくいかずに悪戦苦闘。それに比べ、お父さんたちはパワフルな投球で、ストライクやスペアを繰り出し、親子で楽しく交流することができました。





11月5日(日)、4年振りに開催した「姉体まつり」は、あいにくの曇り空ではありませんでしたが、多くの方々にご来場いただき、大盛況で終えることができました。

出展された方、出演された方、出店された方、そして会場準備等に從事された皆さま、ご協力ありがとうございました。



令和5年度「姉体歩こう会」表彰式・交流会

11月18日(土)、今年度最後となる「姉体歩こう会」と表彰式・交流会を地区センター日本間で開催しました。

4月から始まり11月まで、第1水曜日・第3土曜日の計16回の計画で進めてきましたが、今年度は降雨等で2回中止となり、全14回の実施となりました。

町内の名所・旧跡を中心に歩き、延べ393人、一回平均25人の参加人数でした。一回一回は会話も弾み、楽しく歩いていますが、年齢層が高めのため参加者数が減少傾向なのが残念なところです。とはいえ、今年も9名の方が全14回完歩の「皆勤賞」を達成。表彰式では大きな拍手が送られました。その後の交流会ではいものこじや、会員の皆さんが持ち寄ってくれた漬物等を味わい、来年歩きたい場所談義などに花を咲かせました。



皆勤賞のみなさん

文献によると、上島地区の祖先は元禄時代(1688～1704年)には下島に居住し、文久(1861～1864)年には21戸・男女133人が暮らしていたと記されています。正保3年(1646年)には未曾有の大洪水に見舞われ、北上川の流れが変わり、大量の泥土が運ばれたこと、天保以来数十回の洪水に見舞われた地域でした。近年では、昭和22年カスリン台風、昭和23年アイオン台風の際、地区のほとんどが浸水しました。

後世に自然災害の恐ろしさを伝える為、洪水水位3mを刻んだ石碑を平成13年7月に上島会館に建立しました。石碑は昭和6年頃まで、秋成水路にかかっていた【船橋】の船板を使用しています。皆様にも一度ご覧頂き、自然災害の教訓にしていだければと思います。

現在当地区(133世帯)は、自主防災活動の強化展開中です。



(上島行政区長 及川 実/参考文献 姉体の地史)

2023 健康マラソン

【姉体町振興会体育振興部事業】

10月29日(日)、2023健康マラソンを小藤橋付近、姉体マラソンコースで行いました。今回のマラソンは、順位付けをせず、走りを楽しみ、完走することを目的に行われ、「ファミリーペア」「フレンドペア」「ひとり」の3種目18名の方が参加されました。

距離は1.5kmのみとし、参加者には、給水だけでなく、給食も体験してもらうため、バナナと今回特別にシャインマスカットの提供も行いました。

ゴール後は、藤橋下へ移動し、お振舞の豚汁とおにぎりを食べながら、参加者同士の交流も行いました。



仲よしフレンドペア♪



元気にスタート!



忘れ物

姉体まつり終了後、地区センターでお預かりしている忘れ物です。

- 運動靴(アディダス/21cm)
- スリッパ(チェック柄)
- 出展作品を包んでいたと思われる布

お心当たりの方は、地区センターまでお問い合わせください。

Tel.0197-26-2524



